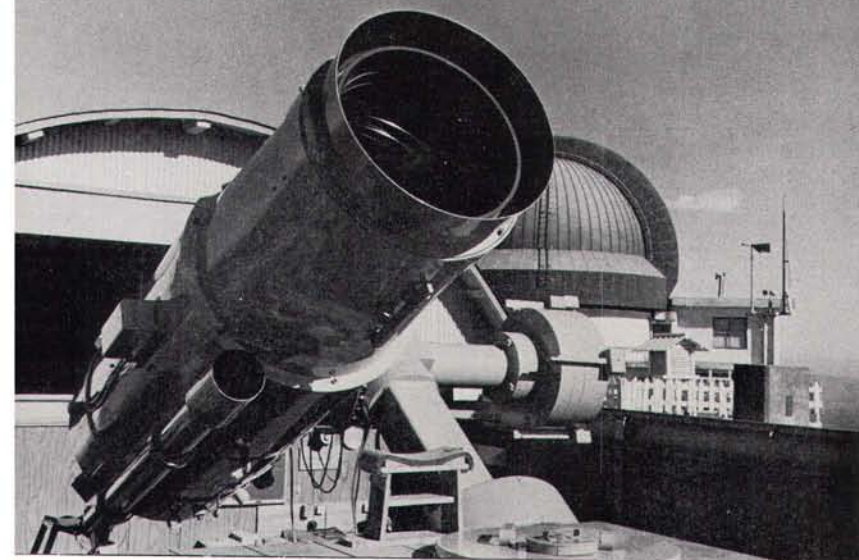


堂平観測所, 50センチ彗星

写真機による星雲写真



堂平観測所の50センチ、F2彗星写真機による星雲写真である、各写真ともにKodak 103a-Eに保谷ガラスR64フィルターを使用して、露出60分で撮影したもの

IC 434
(馬頭星雲)

$\alpha = 5^{\text{h}}38^{\text{m}}$

$\delta = -2^{\circ}26'$



◀NGC 1498

(カリフォルニア星雲)

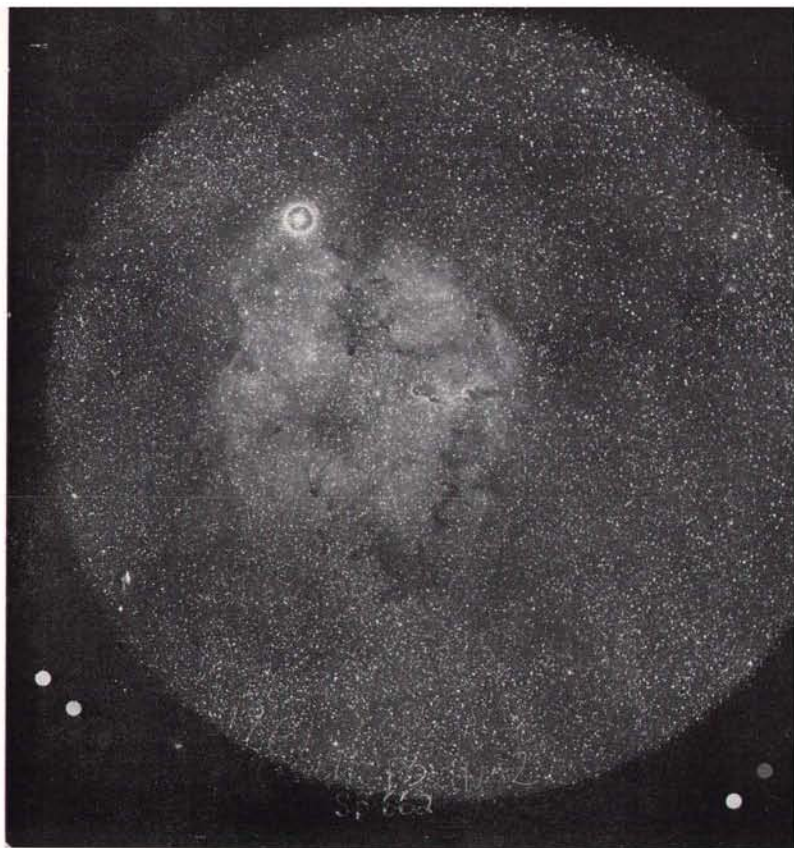
$\alpha = 3^{\text{h}}55^{\text{m}}$

$\delta = +36^{\circ}$

IC 1396

$\alpha = 21^{\text{h}}35^{\text{m}}$

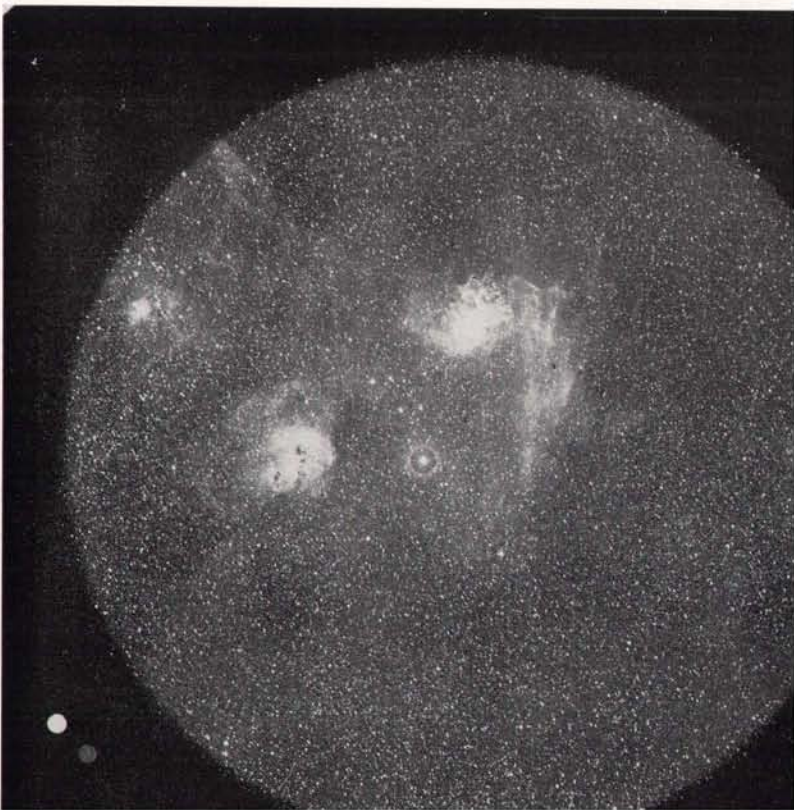
$\delta = +56^{\circ}$



中央がNGC 1405
左側はNGC 1894

$\alpha = 5^{\text{h}}20^{\text{m}}$

$\delta = +32^{\circ}$





▲東京天文台堂平観測所にて、左から三人目 リカ国立大学（ソ連ラトビア共和国）のK・ラプシュカ博士（人工衛星カメラAFU-75の設計者）、うしろは国土地理院のカメラ

人工衛星日ソ協同観測



▲共同観測中の水路部のカメラ

ソ連の人工衛星カメラAFU-75 口径20センチ、焦点距離76センチの航空写真用。ペーカー・ナン・カメラと似た架台だが第三軸の間の角を90度~75度の間で調節することによって、小円にそった追跡が可能。

